

予算決算常任委員会会議録

目次

【開 会】	4
議案第 1 号 令和 6 年度矢板市一般会計予算	4
【閉 会】	8

1 日 時

令和6年3月7日（木）午前9時56分～午前10時12分

2 場所

議場

3 出席委員（15名）

委員長 小林 勇 治

副委員長 櫻井 恵二

委員 渡邊英子

齋藤典子

掛下法示

關 由紀夫

石井 侑 男

榭 真衣子

神谷靖

山莊本宮

伊藤 幹 夫

森 島 武 芳

石 塚 政 行

高瀬 由子

佐 貫 薫

4 欠席委員

なし

5 説明員（8名）

(1) 総務課 (3 人)

①総務課長 高橋弘一

②行政担当 相馬香織

③財政担当 矢板 洋

(2) 社会福祉課 (1 人)

①社会福祉課長 沼野晋一

(3) 高齢対策課 (1 人)

①高齡対策課長 加藤清美

(4) 健康増進課 (1 人)

①健康増進課長 日賀野真

(5) 水道課 (1 人)

①水道課長 齋藤正樹

(6) 下水道課 (1 人)

①下水道課長 江連康一

6 欠席説明員

関係部課長等以外は出席せず。

7 事務局 星 哲 也 粕 谷 嘉 彦 佐 藤 晶 昭

8 付議事件

議案第 1 号 令和 6 年度矢板市一般会計予算

9 会議の経過及び結果

【開 会】

○委員長（小林勇治） ただいまの出席委員は 15 名で、定足数に達しているから、会議は成立している。

ただいまから、予算決算常任委員会を開会する。

（9 時 56 分）

議案第 1 号 令和 6 年度矢板市一般会計予算

○委員長 この委員会に付託されました案件のうち、議案第 1 号 令和 6 年度矢板市一般会計については、去る、2 月 27 日開催の本委員会において、分科会を設置し、それぞれの審査事項を付託したが、その審査を終了し、結果の報告書が委員長のものと提出されている。

これより、各所管事項について審査結果の報告を求める。

初めに、総務所管について審査結果の報告を求める。

神谷 靖 総務分科会委員

○総務分科会委員（神谷靖） 御報告申し上げます。

去る 2 月 27 日の予算決算常任委員会において、本分科会に付託されました、議案第 1 号の歳出のうち総務常任委員会の所管に属する事項について、審査の経過及び結果の御報告を申し上げます。

付託案件審査のため、去る 2 月 27 日、第 1 委員会室にて、総務分科会を開催し、説明のため当局から関係部課長等の出席を求め、慎重に審査をいたしました。

まず 1 款、議会費の予算額は、1 億 5,742 万 3,000 円、前年度に比べ、474 万円、3.1%の増となっております。

続いて 2 款、総務費の予算額は、15 億 8,133 万 7,000 円、前年度に比べ、3 億 7,743 万 3,000 円、19.3%の減となっております。この主な原因は、泉きずな館整備事業などの減少によるものです。

3款1項1目、社会福祉総務費のうち人権対策事業の予算額は、133万4,000円、前年度に比べ、85万1,000円、176.2%の増となっております。この主な原因は、本市で開催される人権フェスタなどの増加によるものです。

3款1項3目、国民年金費の予算額は、345万5,000円、前年度に比べ、59万9,000円、21.0%の増となっております。

4款1項3目、環境衛生費の予算額は、1億6,293万9,000円、前年度に比べ、7,887万1,000円、93.8%の増となっております。この主な原因は、新エネルギー利用促進事業などの増加によるものです。

4款1項4目、公害対策費の予算額は、438万1,000円、前年度に比べ、25万4,000円、6.2%の増となっております。

4款2項、清掃費の予算額は、4億3,790万9,000円、前年度に比べ5,601万7,000円、14.7%の増となっております。

7款1項4目、消費者行政対策費の予算額は、358万1,000円、前年度に比べ、35万4,000円、11.0%の増となっております。

9款、消防費の予算額は、5億4,630万5,000円、前年度に比べ、2,074万1,000円、3.9%の増となっております。この主な原因は、本市で開催される総合防災訓練などの増加によるものです。

12款、公債費の予算額は、12億3,981万1,000円、前年度に比べ、3,693万3,000円、2.9%の減となっております。

13款、諸支出金の予算額は、34万2,000円、前年度と同額となっております。

14款、予備費の予算額は、2,000万円、前年度と同額となっております。

次に、その他について申し上げます。

予算書第2表、債務負担行為につきましては、「令和6年度 栃木県信用保証協会の矢板市中小企業振興資金（緊急経営強化支援資金）融資保証に対する損失補償」のほか2件に、これを設定するものであります。

次に、予算書第3表、地方債につきましては、「地域福祉体制強化事業」のほか17件について、限度額を定めるものであります。

一時借入金については、地方自治法第235条の3第2項の規定により借入れの最高額を6億円と定めるものであります。

歳出予算の流用については、地方自治法第220条第2項ただし書の規定により、流用できる範囲を定めるものであります。

以上、この分科会に付託されました議案については、採決の結果、全会一致、原案のとおり可決いたしました。

以上、本分科会の報告を終わります。

○委員長 次に、教育福祉産業所管について審査結果の報告を求める。

宮本 莊山 教育福祉産業分科会委員

○教育福祉産業分科会委員（宮本莊山） 御報告申し上げます。

去る2月27日の予算決算常任委員会において、本分科会に付託されました、議案第1号の歳出のうち、教育福祉産業常任委員会の所管に属する事項について、審査の経過及び結果の御報告を申し上げます。

付託案件審査のため、去る2月27日及び2月28日、議場において分科会を開催し、説明のため当局から関係部課長等の出席を求め、慎重に審査いたしました。

まず、3款、民生費の予算額は、50億3,068万4,000円、前年度に比べ2億7,550万8,000円、5.8%の増となっています。この主な理由は、児童手当支給事業や障害者総合支援事業などによるものです。

きずな館の解体に係る費用においては、きずな館が所在する市有地の売却にあたり、建物解体の有無による経費及び売却額の比較を行うべきとの意見が出されました。

次に、4款、衛生費の予算額は、10億5,837万8,000円、前年度比で1億4,321万2,000円、15.6%の増であります。この主な理由は公的病院等支援事業などによるも

のです。

次に、5 款、労働費の予算額は、175 万 6,000 円、前年度に比べ 96 万 8,000 円、35.5%の減であります。この主な理由は、企業見学バスツアーの経費削減によるものであります。

次に、6 款、農林水産業費の予算額は、5 億 4,989 万 1,000 円、前年度に比べ 1,471 万円、2.7%の増であります。この主な理由は、農地耕作条件改善事業などによるものであります。

次に、7 款、商工費の予算額は、4 億 4,313 万 1,000 円、前年度に比べ 1 億 9,534 万円、30.6%の減であります。この主な理由は、今年度実施しております、城の湯温泉センター改修工事の完了などによるものです。

次に、8 款、土木費の予算額は、18 億 4,931 万 2 千円、前年度に比べ 2 億 4,646 万 4,000 円、15.4%の増であります。この主な理由は、道路新設改良事業や橋りょう維持事業などによるものであります。

次に、10 款、教育費の予算額は、19 億 8,362 万 4,000 円、前年度に比べ 7 億 2,570 万 1,000 円、26.8%の減であります。この主な理由は、文化スポーツ複合施設建設工事の完了などによるものです。

次に、11 款、災害復旧費の予算額 6,000 万円は、科目設置のため前年度と同額であります。

以上、本分科会に付託されました、議案第 1 号の歳出のうち、教育福祉産業常任委員会の所管に属する事項は採決の結果、全会一致、原案のとおり可決することに決定しました。

以上、報告を終わります。

○委員長 各分科会報告は、終わった。

ただ今の各分科会報告に対し、質疑を行う。

質疑の通告はない。質疑はあるか。

（「質疑・討論終結」と言う声あり）

（「賛成」と言う声あり）

○委員長 13 番、伊藤幹夫委員より質疑・討論終結の動議が提出され、必要とする賛成者があるので、動議は成立している。この動議を議題とする。動議のとおり決定することに、異議はないか。

（異議なし）

○委員長 異議なしと認める。したがって、質疑・討論を終結されたいとの動議は可決された。質疑・討論を終わる。

○委員長 これより、採決する。

議案第 1 号は、原案のとおり決定することに異議ないか。

（異議なし）

○委員長 異議なしと認める。

したがって、議案第 1 号は、原案のとおり可決された。

○委員長 以上で、この委員会に審査を付託された案件は、全て終了となるが、委員長報告については、私に一任願えるか。

（異議なし）

○委員長 異議なしと認める。

したがって、本会議における報告については、委員長に一任された。

【閉 会】

○委員長 これで予算決算常任委員会を閉会する。

（10 時 12 分）

矢板市議会委員会条例第25条の規定により署名する。

令和 年 月 日

予算決算常任委員会委員長